

授業科目名	ダンスワークショップ実習D	担当教員	深澤 南土実
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	実習		
開講年次	2年第4クォーター		
講義内容	この授業の目的は、ダンスの創作的ワークショップを通じて、企画やコーディネートセンス、またクリエイションの意識ないし技能を会得することにある。授業の内容は、担当教員の選んだ外部講師とともに考え、創作しながら、そのことを学ぶものである		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画やコーディネートセンス、クリエイションの意識ないし技能を多角的な視点で会得する 2. 担当教員や外部講師、他の参加者たちとコミュニケーションを取り、限られた時間を生産的に過ごして、作品を形にすることができる 3. 創作体験を内省し、創作の核心や体験の核を、他者に伝わる言葉やイメージで書き残すことができる 		
授業計画	<p>振付家とともにダンスのテクニクワーク、振付やクリエイションを行い、他の参加者らとともに議論を通じて作品を創作する。ショーイングを実施する可能性もある。</p> <p>*この授業は6日間の集中講義（1日約8時間程度）となります</p> <p>事前：創作に関する調査や研究（リサーチ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、テクニクワーク 2. 振付技法・方法論の習得に向けたワーク 3. クリエーションに向けての意識づけ、感覚やイメージの共有 4. クリエーションの稽古、意見交換と調整、リハーサル 5. ディスカッション、フィードバックと再調整、ショーイングに向けての準備と総確認 6. ショーイング、全体の講評を含むフィードバックと意見交換 <p>事後：レポートの作成</p>		
事前・事後学習	通常の12週講義で週2時間程度の事前・事後学習を念頭においています		
テキスト	特に指定しません		
参考文献	授業内に適宜紹介します		
成績評価の基準	<p>リサーチ 10%：好奇心、探究心、調査深度</p> <p>平常点 70%：感受性、創発性、理解深度、意欲（到達目標の1,2から判定する）</p> <p>レポート 20%：内省力、考察力、表現力（到達目標の3から判定する）</p>		

履修上の注意 履修要件	「ダンスワークショップ実習（A~C）」を履修していることが望ましい。 この授業はダンスワークショップ実習最後のもの（D）であることから、ダンスに特化したクリエイションを試みます。 全日程の参加を原則とします。
実践的教育	
備考欄	実習の詳しい内容は、説明会資料で説明します。 外部講師と相談の上、教育の質保証ならびに授業の運営（安全）確保の観点から受講者の上限を決める場合があります。その場合は、志望理由等による抽選を行います。